

# ボランティア活動をしている人たちの声



ボランティアグループ  
「ラブ&サービス〜ひとり親家庭支援〜」代表

**小山晴美さん**

## Q1.活動するまでの流れ

千代田区の子どもたちに朝食を提供し、サポートする“朝食支援”を始めたいと思い、ボランティアセンターに相談に行きました。そこで2020年のコロナ禍でひとり親家庭が大変な思いをしていることを知り、主にひとり親家庭のサポートをするボランティアグループを立ち上げました。そして、社会福祉協議会が交付する助成金やクラウドファンディング等を活用して、区内在住のひとり親家庭に向けて、宅食ボックスを二度送りました。その他にもひとり親家庭のつながりを築こうと、イベント型のサロン活動をスタートしました。

## Q2.どんな想いでボランティア活動をしていますか？

今の子ども達が次世代を作ってくれるので、子ども支援をすることはすごく大切だと思っています。彼らが社会を変える原動力になるからです。小さい時の体験は一生残ります。ひとつでも「あの時楽しかった、嬉しかった」ということが増えれば、いつかその子ども達が大きくなったときに、その体験を誰かに引き渡すことができればいいなあ、との想いで、自分たちができる小さな活動をしています。



傾聴ボランティア

**井本邦子さん**

## Q1.活動するまでの流れ

千代田区に引っ越してきたばかりの時に、ボランティア活動をしたいと思い、ボランティアセンター主催の講座に参加したのがきっかけです。その講座でボランティア登録をしました。後日、おひとり暮らし高齢者の傾聴（話し相手）ボランティアをしてほしいとの相談があり、引き受けさせていただきました。現在は2件の傾聴ボランティアとして活動しています。

## Q2.どんな想いでボランティア活動をしていますか？

私は「ボランティアは自分のためにする」という考えでいます。歩道の脇に咲く花を見て、やさしい気持ちになる人が増えるなら花を増やすボランティアを。介護に疲れた人がちょっと心を休めるお手伝いを。悲しいこと、苦しいこと、辛いことを抱えている人のそれらを共有できる人として。結果、お互いに幸せを感じる瞬間が重なっていくような活動に繋がるといいなと思っています。幸せを感じるお手伝い如果能できれば、自分も幸せになれるから続けています。



施設職員  
の様子を聞  
いと思う気  
変化を感じ  
を通してお  
みて楽しみ



子どもたち  
ア時間は、  
なっていま



マジックは  
でもらえる  
れる」その  
力です。こ



私がボラン  
ンティアセ  
人の気持ち  
す。また私  
たので大学  
ようになった

